

人と魚と海のネットワーク
 香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail: gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

高松市内5漁協で合併推進協議会が設立される！

平成 15 年 1 月 28 日 (金) 午後 1 時半から高松市の漁連会館において、高松市瀬戸内漁協、女木島漁協、男木島漁協、香西漁協及び下笠居漁協は、それぞれの漁協の役員代表と香川県水産課、高松市役所の担当職員など、関係者約 30 名が出席するなか、合併推進協議会を設立するとともに第 1 回協議会を開催し、平成 18 年 3 月末を目標に合併協議に入ることで合意した。

高松地区においては、平成 8 年 12 月に、高松第一、高松相互、高松市西浜及び高松の 4 漁協が合併し、高松市瀬戸内漁協が設立された。

併せて、屋島と高松市東部、女木島と男木島、香西と下笠居についても合併の計画があったが、現在まで進展が見られなかった。

そのような中、本年 6 月より組織強化推進室が、高松市内の関係漁協長等と協議を重ねた結果、市内の漁協が合併して一つになるのが望ましいという意見が主であったことから、9 月 24 日に関係 7 漁協長が集まり、市内 7 漁協で合併協議会を設立することについて協議を行った。その際、高松市瀬戸内漁協など 5 漁協は協議会設立について賛成、屋島及び高松市東部漁協は、再度、協議会参加について理事会で検討することとなった。

その後、屋島及び高松市東部漁協では協議会参加の承認が得られなかったことから、残る 5 漁協で協議会を設立することとなったものである。

なお、当日の協議会では、屋島及び高松市東部漁協については、組合長がオブザーバーとして参加することが併せて承認された。

協議会の名称：高松市漁協合併推進協議会
 会長：地濱高松市瀬戸内漁協組合長
 副会長：橋本女木島漁協組合長、濱川男木島漁協組合長、新開香西漁協組合長、青木下笠居漁協組合長、北野高松市瀬戸内漁協副組合長
 委員：5 漁協役員計 18 名

本県における合併推進協議会の設立は、本年 9 月

の小田・鴨庄・志度漁協合併推進協議会及び 10 月の多度津町高見・佐柳漁協合併推進協議会設立について 3 件目であり、推進室としては積極的に 3 地区の協議の進展に協力してまいりたい。

一方、国においては、漁協合併促進法が、期限切れを目前とした本年 3 月末、関係者の努力により、平成 20 年 3 月までの 5 力年間の延長が実現したところであり、本県においても、これを契機に、当面の目標であった「1 市町 1 漁協」から、より広域的な「地区ブロック単位の県下 5 漁協」さらには 1 県 1 漁協も視野に入れた合併の基本方針及び基本計画の変更について、漁業者や関係者とも議論を進めながら取り組んでまいりたい。

(組織強化推進室)

ノリ初入札！

平成 15 年度の県内産養殖ノリ（乾海苔）の初入札会が、12 月 3 日高松市瀬戸内町の本会共販所で 72 商社が参加し開催された。

今年の初入札には、県下 8 漁協から 1,100 万枚が出品された。11 月の海水温が平年より高く推移したため、昨年の半分の出荷量となったが、栄養塩が十分あり品質的には例年並であった。全国的にも高水温等の影響で、収量は今ひとつといった状況のため、今回の初入札は平均単価 12 円 89 銭と例年より高値であった。今後が期待される。

次回は、12 月 13 日 1,980 万枚の予定で、3 月末まで 11 回の入札会が開催される。



初入札の風景

組合運営における役員責任に関する研修会開催

漁協役職員の不祥事再発防止のため「組合運営における役員責任に関する研修会」(主催：香川県)が、11月26日(水)午後1時30分より漁連会館6階大会議室において、県下漁協の組合長ら役員約90名の参加者を得て開催された。

講師には、全漁連 JF 強化本部経営監査部長 奈田兼一氏を招き、内部監査体制の強化や定期チェックの重要性などを説き役員としての危機管理意識を高めた。

また、過去に全国で発生した JF 関係の不祥事の事例を挙げ、類型別の原因と対応策を示し、不祥事防止策として外部・内部監査の強化、決裁ルールの明確化、役員の任期制限、経営の透明化、人事異動による不正防止、金銭の取扱いの管理徹底などを挙げ、日常業務における不祥事未然防止の具体策としてチェックリストの活用を訴えた。

最後に、「役員の責任は重い。組合員の負託に応える健全な組合の運営を」と呼びかけ、参加者らは熱心に聴き入っていた。



真剣に講師の話に聴き入る参加者

「第24回全国豊かな海づくり大会」 残日表示計除幕式

— JR高松駅コンコースで開催 —

「第24回全国豊かな海づくり大会」の開催まで残すところ、あと300日となることから、残日表示計の除幕式が12月8日(月)高松駅コンコースで開催された。

当日は、真冬の寒さにもかかわらず、大会キャラクター「はまうみくん」の指揮で、まゆみ幼稚

園すみれ組園児34名により、元気なオープニング演奏で始まった。

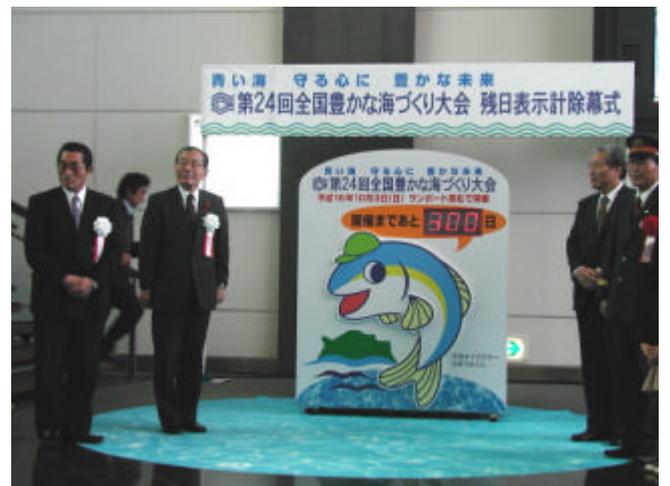
次に、真鍋県知事(第24回全国豊かな海づくり大会香川県実行委員会会長)から大会に向け「ハマチ養殖発祥の地 水産県香川で～ 青い海 守る心に豊かな未来～」をテーマに、平成16年10月3日(日)サンポート高松で開催される。水産資源の維持培養と海の環境保全に対する意識の高揚に努め、大会が成功するよう、県民の皆様のご支援、ご協力をお願いするとともに、美しい瀬戸内海、最近ブームのさぬきうどん、そして香川の伝統・文化を全国に発信し、今後の香川の観光につなげたい」と挨拶があった。



大会に向け協力をお願いする真鍋県知事

つづいて、香川県知事、増田高松市長、服部県漁連会長、高木 JR 高松駅長、園児代表らにより「はまうみくん」をかたちどったデザインの残日表示計が除幕されると、幼稚園児たちのかわいらしい手でクラッカーが割られ、乱舞する色とりどりのテープに道行く人々の足を止めていた。

この残日表示計は JR 高松駅のコンコースに設置され、駅を利用する方々などに大会開催をアピールする。



JR 高松駅に掲示される「はまうみくん」の残日表示計

第24回全国豊かな海づくり大会開催記念
「海を愛する子供たちの絵画・作文コンクール」
入賞作品の紹介

高松市長賞 [小学校低学年の部]

「海の楽しい思い出」

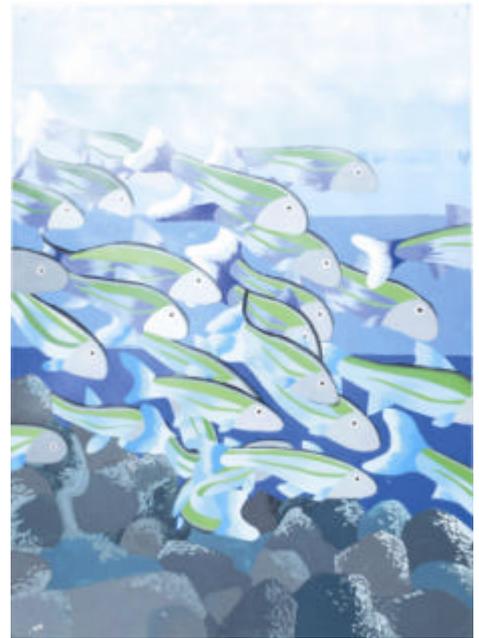
高松市立四番丁小学校 2年 西原 瑞貴



高松市長賞 [中学校の部]

「稚魚愛護」

高松市立協和中学校 2年 柳萬 かつ枝



高松市長賞 [小学校高学年の部]

「海の友達へ 僕の笑顔見えますか」

高松市立古高松南小学校 5年 森 麗也



香川県漁連会長賞 [小学校低学年の部]

「海が大すき」

高松市立中央小学校 2年 山本 彩加

